



平成29年度の地域づくり人養成講座を担当しました研究員の秋山です。地域づくり人養成講座の報告については、受講生の声を聞いてもらいたいという思いから、講座の卒業課題として受講生から提出いただいた自主研究論文を掲載することとしました。砥部町役場の岩佐千恵さんの受講目的と成果、今後についてなどから地域づくり人養成講座の様子や学んだことを感じていただければと思います。

### 1 受講の目的と成果

講座を受講するにあたって、行政の立場からの地域との関わり方について次の二つを学ぶ目的がありました。一つは、近隣地域や組織間の連携や協力の方法について。もう一つは、身の丈に合った地域独自の活動の見つけ方から実践に至るまでの取り組みについてです。

前者において、連携や協力を考える前段には地域についての現状を知る必要があると感じました。しかしながら、出身である砥部町についてまだまだ知らないことが多く、地域のニーズが分かかっていないと仕事をするなかで感じる場面があ

りました。また行政にできるサポートの方法という点では、団体への事業補助や個人として団体と共同することが考えられます。ニーズを把握したうえで助成金



岩松商店街での取り組みを紹介する兵頭肇さん

交付や人材の派遣など対象となるチャンスが来た時に気づき掴めるようにしたいです。当初目標としていた近隣地域や組織間の連携と協力の方法については、今後の目標とします。

後者においては、無理をせず、身の丈に合った活動することが重要であると学びました。宇和島での講座の際、岩松商店街の取組の中で代表の兵頭肇さんが良い意味でいかに楽をするかを考えているとおっしゃっていたことが深く印象に残っています。また現在担当している砥部アーバンデザインスクールというまちづくりの学習と企画、実践の体験講座においても企画を考える際にあれもこれも

と色々なことに手が伸びていきましたが、長い目でみると、イベント疲れとなり継続が難しくなる可能性があると感じました。まずは試しに小さい取組をやってみる、その反省を次回に活かしながら少しずつ拡大していくべきだと考えます。

### 2 印象に残っていること

企画を考えるうえで今ある資源の活用方法を学んだのは小田での講座でした。まち歩きを通じて考えた観光・体験プランの発表では、特産の松の縁起事を結び付けたストーリー性のあるもの、地名に注目した呼び込みなど、今まで考えたことのない発想に触れることができました。今

ある資源ひとつをとっても考え方によっては様々な活用方法があることが分かりました。地域づくり講座の他



小田のまち歩きで宿泊施設「京の森」を訪れている様子

の受講生と各回グループワークや懇親会を通じて様々な意見交換を行ってきましたが、その知識、経験を伺い、尊敬することばかりでした。その一方、私の強みとは何だろうと考えることがありました。社会経験が少ない分、枠に捉われ難いところと体力ではないかと思えます。「百聞は一見に如かず」という言葉がありますが、その一見を体感するために積極的に現場に行くこと、また、制約なしで純粹に良いと思うこと、楽しいと感じられることの提案が私にできることだと考えています。

### 3 今後について

私らしさでいうと趣味のマラソンから地域づくりに活かせるポイントがあると考えます。マラソンはマネジメントと同じ原理だと伺ったことがあります。長い距離をどのように走り切るか、たとえスタートを全力で走ったとしてもすぐにばててしまいます。少し抑えた一定のペースで走り続けた場合、またスタートを全力で走った後ペースを落として走った場合、後者の方がエネルギーの消費量と脚への負担が大きくなります。また、自身のレベル以上の練習を行うなど無理を続けると怪我やモチベーションの低下につながります。このことは1の後半で挙げたアーバンデザインスクールの例がまさに当てはまるのではないかと考え

ています。他にも本番までの走行距離に反比例してタイムが縮まるわけではないということ、状況を見極めながら計画を立てて効率良く取り組まなければならぬといえます。また、たとえ怪我をしたとしても、回復に向けてどのような対応をするかも考えて実践に移す必要があります。壁にぶつかったときや失敗したときにくじけずに改善に向けてどのように取り組むか戦略を立て実行することが共通しています。これらの理由からマラソンとマネジメントが同じ原理といえると考えます。マラソンマインドを応用した、私にできることを考え実践することを宣言し本論文の締めとさせていただきます。

## 平成30年度 「地域づくり人養成講座」受講生の募集

(公財)えひめ地域政策研究センターでは、地域づくりに関心のある方々を対象に、地域づくり人養成講座を開催します。講座では、専門家による講演、地域づくり活動地への訪問、現地でのワークショップなどを通じて、地域づくりの意識やスキルの向上を図ります。

#### ◆研修期間

平成30年6月から平成30年11月までの間で、年間6回程度の開講を予定しています。

#### ◆内容

テーマ毎に県内各地に赴き、現地活動者の指導を受けながら、地域の現状を学ぶとともに、現場に即した課題解決能力の向上を目指してワークショップなどの実践的な研修を実施します。さらに、事業を通じて参加者相互や県内各地の地域づくり実践者との交流を図り、研修終了後の活動にも活かせるネットワークをつくります。

#### ◆受講料

原則受講料は無料ですが、飲食費、研修会場や

集合場所までの旅費等は自己負担となります。

#### ◆募集人員及び応募資格

- 25名程度
- 地域づくりに関心があり講座に継続して参加可能な方(地域づくりの活動者、行政職員〈県・市町〉、学生、各種団体関係者など)

#### ◆応募期間

平成30年5月末まで

#### ◆応募方法等

詳細はホームページをご覧ください。

地域づくり人養成講座

検索

<http://www.ecpr.or.jp/actions/training-course/>